

vol
03

令和3 / 秋

日蓮山

立雲寺
だより

血書

いのちに合掌

日蓮宗
Nichiren Shu

日蓮山



立雲寺

立正安国・お題目結縁運動
いのちに合掌

〒050-0086

北海道室蘭市大沢町 2-4-1

TEL (0143)44-4306

MAIL ritsuunji@gmail.com

立雲寺公式サイト

お会式と
報恩感謝の心

蓮聖人は、自身の生涯をかけてお釈迦様の説いた真実の教えである法華經を世に弘めるため尽力されました。そしてその功德を「南無妙法蓮華經」に込め未来に託され、一二八二年十月十三日、武蔵国池上（現在の東京都大田区池上）にて六一歳で入滅されました。

このご命日を偲び、私たちが今をイキイキと生きる上で大切な考え方を示してください。ご恩を捧げ行われる法会が「お会式」です。今年で七四〇遠忌をお迎えします。入滅の地である東京都大田区の池上本門寺では、十月十一日～十三日にかけて、お会式法要が盛大に営まれます。

日蓮聖人は父母・国王・三宝・一切衆生への恩、「四恩」に感謝することが大切ですと仰っています。このうち一切衆生への恩とは、生きとし生けるものの全てへの恩です。これは地球上全てのものが関わり合い、自然界・生態系の中で生命を共有している真理に基づきます。忙しい日

常を送る私たちは、それを忘れがちです。水・空気・海・山・植物・動物など全てのいのちの営みの中で私たちは生かされています。当たり前のことが実はありがたいことである事に気付くと自然と感謝の心が生まれます。

他者とのご縁も同じです。私たちは皆、他の誰かに支えられ生きています。その恩に感謝し行動すると、また誰かを支える事になり、良い循環が生まれます。日々の生活の中でおかげさまの心に見覚めることは仏道修行の第一歩です。

立雲寺では、毎年多数の僧侶をお招きしご法話・法会を営み、くじ引きの催し物をしています。今年は残念ながらコロナ禍の為、僧侶はお招きせず寺内の僧侶で法話・法会を行い、くじ引きの催しは行方事になりました。

お会式を通して、日蓮聖人に報恩感謝するだけでなく、一度立ち止まって、当たり前に感謝する心を一緒に育てられるといいですね。

秋号もくじ

- 1 お会式
- 2 水行始め
大黒祭

- 3 新年祈祷会
行事報告（8・9月）
七五三・限定御朱印
今季の一冊
- 4 教室案内
学びの時間

令和3年

10.12(火)

13:00～ 立雲寺本堂

お会式法要

法要後～法話



11/1
(月)

寒水行始め

五箇ヶ御守

肌守り

寒水行の35日間、毎日お経をかけたお守りです。

蓮宗大荒行堂では、百日のうち十一月一日から十二月五日までの三十五日間を自行期間といいます。この期間は自身の罪障を払い、身を清める期間です。立雲寺ではこの三十五日間に合わせて一日一回水行を行います。

古来より各宗教では、水は身心の穢れを清浄にする信じられていきます。仏数でも水行は六根（眼・耳・鼻・舌・身・意）清浄の方法として古くから行われています。

またこの期間に「肌守り」に毎日お経をかけてご祈禱します。「肌守り」は、いつも身につけ心に法華経・お題目を保つことを心がけることで、障りから身を守ってくれるお守りです。

日

- 10月 12日 お会式
- 11月 1日 寒水行始め
13日 13日講
- 12月 5日 寒水行納め
12日 大黒祭
- 1月 1日 新年祈禱会
13日 13日講

大

黒祭とは、その名の通り大黒天の大祭です。立雲寺では毎月の十三日講と併せて行います。

大黒天は法華経の守護神として祀られ、八万四千の福德神をつかわして、私たちに福德や財宝を与える七福神として広く親しまれております。

皆さまのお仏壇に祀っている大黒天像を銭洗いし、大黒天の掛け軸がある方は法楽莊嚴（多数の経力をいただきより一層の御加護を受けること）を行います。

銭洗いとは、各家庭の大黒天の御尊像を、黒豆の煮汁や酒などを合わせた法水で、一年間の



12/12
(日)

大黒祭



1 立雲寺本堂の大黒天の銭洗いの様子。立雲寺には二体の大きな大黒天が祀られています。2 各家の大黒天や七福神を一体ずつ銭洗いします。3 各家の大黒天の掛け軸の法楽莊嚴も行います。



大黒守り

銭洗い又は法楽莊嚴した方に大黒天神守りと木札を授与いたします。

御尊像の汚れを祓い清め、大黒天の一層のご加護を祈念することです。

立雲寺の大きな大黒天は二体ありますが、一体は普段は見ることのできない場所にお祀りしています。一年に一度、大黒祭の時のみ正面にお祀りします。

大黒天がお仏壇にない方もお参り可能です。大黒天のご加護と福德をいただきましょう。



新年祈禱会

1/1
(土)

元旦0時水行開始
1時半終了予定



- 1 元旦午前0時、年明けと共に水行が始まります。
- 2 水行後、新年祈禱会で新しい年がより良いものになるようご祈禱します。
- 3 御宝前には鏡餅が供えられます。

旧 年中に知らず知らずのうちにたまった垢をきれいに洗い流す。神仏やご先祖様に旧年一年間を無事に過ごさせてもらった御礼をする。そして新しい年がより良い年になるようお参りをする新年祈禱会。除夜の鐘と共に元旦0時から水行、その後本堂にて新年祈禱会、最後にお札を授与します。コロナ禍での二回目の年越しとなりますが、令和三年を振り返って良かった方も良くなかった方も、元旦の初詣にお寺にお参りをしてご祈禱を受け、新年を清々しい気持ちでスタートしましょう。

家運隆昌札

参拝された方に、新年を円満に過ごせるよう「家運隆昌」のお札を授与します。



限定御朱印

※12月の期間限定御朱印はありません。

「お会式」

頒布期間 10/1~11/30

志納金

500円

10月・11月限定

10月13日の日蓮聖人が亡くなられた日に桜の木が季節はずれの花を咲かせたという故事に由来するデザインです。



8月 盂蘭盆会

ご自宅での棚経、納骨段のお参り、16日の法要及び灯籠流し、ご苦労様でした。



報行告事

八月〜九月

秋季彼岸会 9月

23日の法要では、お盆同様参拝された方々のうちわ太鼓が本堂に響き渡りました。

清掃ありがとうございました。

お盆・お彼岸の前後は婦人部のご協力のもと納骨堂や本堂等各所清掃します。お寺は周りの方々に支えられ成り立っています。お寺を掃除すると不思議と気分が良くなります。お寺の掃除をお手伝いしてみたいと思う方はご一報ください。



七五三詣りできます。

立雲寺本堂にて、11月いっぱい七五三詣りが可能です。ご祈禱し、千歳飴、鬼子母神お守りを授与し、記念撮影をします。興味ある方はお問い合わせ下さい。



今季の一冊

言わずと知れた手塚治虫のまんが『ブッダ』の名シーン名言から、働く上で必要な考え方のヒントを教えてくれる一冊。「働き方」とありますが「生き方」に通じます。読むと本編の漫画（全八巻）を読みたくなります…もちろん漫画も本棚にあります！（光汰）



『まんが『ブッダ』に学ぶ穏やかな働き方』

手塚治虫 著
/ プレジデント社

娘

母さんは「ありがとう。助かったよ。」と言う言葉が素直に出てきます。ところが、嫁が同じ言葉を使ったらどうでしょう。人によつては違う言葉に聞こえてしまします。「何だい。うちの台所が汚かったとでも言うのかい！」と…。人はその時の心の持ち様によつて、違う風に見えたり聞こえたりします。物事をありのまま見るといふのは、とても難しく、自己中心的な考え、憎しみや怒りの感情、また愛着や愛情を持ち過ぎると、どうし



第3回

「娘と嫁」

文・林永清

林永清（はやし・えいしん）／立雲寺副住職。
令和3年5月より「立雲寺だより」にて一口法話「学びの時間」を連載開始。

でも偏った考えになり正しく判断が出来なくなってしまう。お釈迦さまもこれをたしなめておられ、八正道（はつしどう）という教えを説かれておられます。これは悩みや苦しみを解放され、安らかな人生を歩む八つの方法です。八正道についてはお会式の法話でお話ししようと思いますが、私自身も日々怒りや迷い、悩みがある時は、考えてみれば自分本意で偏った考えになっている事が多いように感じます。

いろいろな物事に対し、お釈迦さまの教えに照らし合わせて考えたものです。

四十の手習い、もとい五十の手習いとして「ペン習字」ではなく鉛筆を握りしめ「かきかた」から始めてみる事にしました。

何度も書き直し、学生時代でもこんなに鉛筆と消しゴムを使った事はないという位、何本も何個も使い切っては新しいものをおろしています。

昔から通信など、挑戦しては挫折を繰り返してきましたが、この度は公文教室で直接指導のおかげもあり、何とか続いておられます。手紙などさらさらと書けるのはいつの日か…

coming soon!! (笑)

(恵)

自分だけの

御守り作り



初詣企画。世界にひとつだけの御守り作り体験

ご自身でお題目・法華経のお経文を写経し、祈願内容（目標）を書き、寒水行の35日間ご祈祷した御守り用木札を包み、立雲寺オリジナル御守り袋に入れ、最後に魂入れのご祈祷をし、世界にひとつだけの御守りの完成です。初詣限定御朱印も授与します。

新年の良きスタートを期して、ご家族・お仲間と一緒に初詣をしましょう。

<全3回>

1/2(日) 1/13(木) 1/22(土)
13:00~14:00 12:30~13:30 13:00~14:00

※13時半より13日講

参加費 2,000円（祈祷料・御朱印を含む）

持ち物 特になし

予約方法 [名前・日程・参加人数・連絡先] を記載の上
電話・メール・LINE・インスタにて受付。

調 寺ヨガ guna

参加費（ハーブティー付） 1,000円
マットレンタル 200円

講師 林南歩
TEL 080-9610-1030

朝ヨガ	昼ヨガ	夜ヨガ
第2・4日曜日 8:45～（60分）	第1・3金曜日 10:30～（60分）	毎週木曜日 18:45～（60分）

※お寺の都合で変更・中止することがあります。

講師 林香織

TEL 090-5079-0747

公文書写教室 書

11月無料体験学習（最大3回まで体験可）

11月 15日/22日/29日（月）
16日/23日/30日（火）



写経会

10/24(日)

13:00~15:00

如来神力品第二十一

11/27(土)

13:00~15:00

観世音菩薩普門品第二十五

参加費 1,000円

持ち物 特になし

予約方法 [名前・日程・参加人数・連絡先] を記載の上
電話・メール・LINE・インスタにて受付。